

令和6年第1回 湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会 会議録（要旨）	
開催日時	令和6年8月29日（金）14：00～15：00
開催場所	湖西市健康福祉センター「おぼと」 及び WEB
出席者	（委員）14名 （オブザーバー）3名 （事務局）6名 （受注者）3名
内 容	
1 開会	事務局 司会あいさつ、参加状況の確認、資料確認
2 環境部長あいさつ	
3 会長あいさつ	
4 新任委員の紹介	
5 議題	（1）湖西市気候変動適応計画案の説明 湖西市において、令和7年3月までに「湖西市気候変動適応計画」の策定を予定している。今回の協議会は、「湖西市気候変動適応計画」の素案を委員の皆様にお示しし、様々な角度からご意見をいただきたく開催した。 湖西市気候変動適応計画案について事務局より説明を実施。 （2）意見交換 二 橋：①3-2 適応に関する取組対象項目について、評価の○×はどのように判断したのか教えて頂きたい。 ②3-2 適応に関する取組対象項目について、農業・林業における取組項目はあるものの、産業・経済活動における取組項目がないのはなぜか。 事務局：①環境省の「気候変動影響評価報告書」に基づき、項目ごとに重大性・緊急性・確信度に応じてそれぞれ0点から3点まで割り振り、合計点が8点、9点の項目を選定候補として挙げる。また、合計点が8点、9点であっても、各項目に対して湖西市の中で該当する現状や今後の影響がなければ選定候補から外す。 ②産業・経済活動の各項目において、重大性・緊急性・確信度の評価が8点以上のものが1つしかなく、その項目についても、湖西市の中で該当する現状や影響がみられなかったため。 堀 内：林業従事者が減少し、管理が間に合わないという湖西市の現状の中、森の力再生事業や湖西市森林整備事業を活用した人工林の整備といった適応策は CO2 排出削減に資するものであれば良い取組だと思ったため、推進して頂きたい。 井 上：クーリングシェルターや熱中症対策に関する周知等でお手伝いできれば良いと考える。 丸 山：湖西市独自の取組をしっかりと実行し、成果を出してほしい。私たちも可能な限り協力させて頂きたいと考える。 瀧 本：他の市町村でクーリングシェルターの提供を行っているため、今後は湖西市内で活動できればと考える。また、湖西市内の小中学校における空調の整備状況について教えて頂きたい。 滝 川：空調整備も1つの適応策になると思われるが、どこかの項目にカテゴライズされるのか。 事務局：現在、空調設備に関する情報提供や使用周知までは実施しているが、整備に関する取組については確認が必要であるため、適応策に組み込むかどうか検討させていただきたい。 渥 美：湖西市が計画している対応策の周知による実行力の向上やセミナー開催時の集客に努め、貢献していきたいと考える。 原 田：湖西市気候変動適応計画を市民に周知する場合、ボランティア及び税金を投入するという理

由で我々推進協議会メンバーに対して湖西市民から「無責任な対応策出すなよ」とつつかれることはないのか。

事務局：記載の適応策について、既に実行しているものを記載しているため、新たに資金を導入するといった内容ではない。

彦 坂：計画に記載の適応策は既に実行段階にあるといわれたが、具体的に施策をどのようにいつまでに進めるかが分からない。本計画を市民に公表するのであれば、具体的に何をいつまでにどう進めるか、また、現況から見て今すぐに取りかかるべきことや現段階で実行している施策について、もう少し明確に示すことで住民の理解を得やすい計画になると考える。

事務局：本計画に関して、地球温暖化対策実行計画の進捗管理と併せて実施することを現在は想定しているが、点検の時期などについては社会の動向や地域の実情を踏まえて検討したいと考えている。緩和の場合、ある程度定量的に検証できるが、気候変動適応計画は定量的な分析に馴染まない部分もあるため、その点に関しては引き続き点検の時期等少し検討させていただきたい。

彦 坂：計画の根本には、市民が理解して適応策を進めていくことに如何に納得するかが重要であり、内容を具体的かつ明確に示すことで、はじめて行政と市民が一体となって環境対策に向きあうことができると感じるため、検討をお願いしたい。

塩 澤：1-2 計画策定の意義について、節電や省エネなど様々な策が書かれているが、「知っているけどやらない・できるけどやらない」といった人がほとんどだと思われる。そのような人が「できるからやる・知っているからやる」に変われば、それが本当の意味で適応策になるのではないかと思った。

事務局：地球温暖化対策実行計画について、先日、市民の方から3月に実行計画が公表されたことに関して全く知らなかったといったお話を頂き、事務局としてはショックであり、まだまだ努力が足りないのだと痛感させられた。公表されたことを認知していない市民は他にも多くいると思われるため、市民向けの普及啓発には真剣に力を入れなければならないと感じた。

酒 井：年々気温が上昇する中で、気候変動対策として節電や熱中症予防を心がけていこうと考える。

吉 田：1-2 計画策定の意義について、節電や省エネが地球温暖化防止にどれくらい貢献しているかを数値化することで人々の意識が高まると考える。

事務局：数値目標については3月に公表した地球温暖化対策実行計画の中で示している。一度ご覧になって頂けるとありがたいと思われる。

川 島：様々な分野で湖西市独自の取組も加味された適応策を検討されており、とても良いと感じた。今後は、目標に対して時間軸を意識し、効果的な周知や運用ができるようPDCAを回していただければと考える。

服 部：11 ページ以降の適応策に関して、適応策をどこの誰が実行するのか分からないため、担当あるいは関連部署・部局名を入れることで職員や市民にもわかりやすい計画になると考える。

事務局：環境課の中でも担当部局を記載するかどうかは迷った点であった。しかし、担当部局を表に出してしまうとフレキシブルな対応が取れない可能性がある。庁内では、環境課から各部局にはしっかりと担当を示しているため、今回計画を公表するあたり、部局名を示すことは控える予定である。

滝 川：この取組についてはこの課が担当するといった大雑把な書き込みさえあれば、服部委員のご意見を少し飲んだ形で仕上がるかなと思われる。

服 部：どこの課が責任を取るとかではなく、どの課がどのような所に向き合っているかについて市

民に知ってもらうためにも、大きな部局名くらいはあってもいいのではないかとと思われる。

事務局：一旦検討させていただきたい。

川 原：①図 1-1 の出典の表記について、図自体は地球温暖化防止活動推進センターが作っているが、報告書は作っていない。この表記の場合、地球温暖化防止活動推進センターが報告書を作ったと読み取られる可能性があるため、修正をお願いしたい。

②2-2 これまでの湖西市の気候の変化に関して、気温の変化と海面水位の変化の 2 点についてまとめられているが、気候の変化を示す指標は 3 つあり、降雨の変化が農業等において非常に重要な要素である。図 2-4 では年間降水量について示されているが、降水量 50mm 以上の日数や無降水日の変化、つまり、雨が大量に降って無降水日が増えるといった今の日本全体の極端な状況を表す指標入れて頂ければと思う。

③降雨に関する日本全体のトレンドとして、年間降水量はあまり変わらないが、一度に雨が大量に降り、カラッとした天気になることが非常に問題視されている。しかし、6 ページの文章内では逆の内容が書かれており、ミスリードする可能性があるため、日本全体のトレンドと湖西市においては少し異なるといった表記があればいいと思われる。

④表 3-2 適応に関する取組項目対象一覧表に関して、評価の段が 2 段となっている項目があるのはなぜなのか。説明を補足していただきたい。

⑤11 ページ目以降の気候変動影響と適応策について、写真があれば、市民の方にも理解してもらいやすいと思われるため、ご検討いただきたい。

事務局：①②③⑤承知した。

④上段が RCP2.6 シナリオ、下段が RCP8.5 シナリオの予測であることを意味している。該当部分については、説明文を追加する等、記載の修正を検討する。

服 部：11 ページ以降の適応策について、お金を使ってやるからにはそれぞれの適応策ごとに目標年度と目標数値をはっきりと書いたほうがいいのではと感じた。

(3) その他

事務局：本日頂いた意見と去年の第 5 回協議会で頂いた意見につきましては、事務局の方で再度検討し、反映できるかできないか、また、なぜ反映できるのかできないのかも含めて、改めて委員の方々にフィードバックさせていただきたい。

また、令和 6 年 3 月に作成した湖西市地球温暖化対策実行計画に関して、誤字脱字や数値の誤りなどの修正を行っている。修正作業が完了次第、今回の気候変動適応計画の策定と同時に委員の皆様へ完了版を配布させていただければと思う。

今回は昨年度策定した地球温暖化対策実行計画の進行管理等についてお集まりいただくため、年明けの 2 月をめどに開催する方向である。次回の日程を調整後、改めて周知する。

6 閉 会

(別紙) 湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会 委員名簿

業種	所属等	職名	氏名	出欠
教育・学術機関	豊橋技術科学大学	副学長 電気・電子情報工学系 教授	滝川 浩史	○
金融	静岡銀行	湖西支店・新居支店長	堀内 一秀	○
	遠州信用金庫	湖西支店長	井上 博之	○
電力	中部電力株式会社	事業創造本部部長（事業推進担当）	丸山 忠宏	○
ガス	サーラエナジー株式会社	カーボンニュートラル推進部長	瀧本 修	○
公共交通機関 (鉄道・バス・タクシー)	遠鉄タクシー株式会社	常務取締役運行営業部長	榊原 正之	×
農業・ 漁業協同組合	とぴあ浜松農業協同組合	湖西地区支店地区統括部長	北谷 英久	×
	浜名漁業協同組合	代表理事組合長	渥美 敏	×
商工会	湖西市商工会	事務局長代理	二橋 和久	○
	新居町商工会	事務局長	渥美 博之	○
市内事業者 (製造業・物流業)	プライムアースE Vエナジー株式会社	経営戦略室 室長	服部 貴史	○
	有限会社浜名樹研	代表取締役社長	佐原 克哉	×
	株式会社新光製作所	代表取締役社長	原田 高久	○
	株式会社笠子流通	代表取締役社長	佐原 司郎	×
地域住民	市民代表	湖西市自治会連合会会長	彦坂 昇	○
	消費者代表	特定非営利活動法人 ママライフバランス 副理事	大倉 昌子	×
	湖西高校	3年生 2年生	塩澤 陽斗 酒井 幸司	○ ○
	新居高校	2年生 2年生	吉田 光人 白井 悠稀	○ ○
オブザーバー				
静岡県	企業脱炭素化支援センター	イノベーション推進部	川島 一貴	○
	地球温暖化防止活動推進センター	ゼネラルマネージャー	服部 乃利子	○
環境省	関東地方環境事務所	環境対策課 地域適応推進専門官	川原 博満	○
財務省	東海財務局静岡財務事務所	総務課長	川上 正人	×
湖西市環境審議会	湖西市環境審議会 静岡県環境資源協会	湖西市環境審議会会長 静岡県環境資源協会 専務理事	平井 一之	×